

平成××年度 個別の指導計画：評価

学部・学年・組	小学部 6年△組	氏名	宮城野 花子	担任	鈴木 三郎
今年の目標についての評価	I 転んだり座り込んだりすることなく、積極的に歩けるようになりました。 II 教師の言葉掛けに応じて、自分から朝や帰りの準備に取り組めるようになりました。 III 写真カードや教師の言葉掛けで、活動に見通しを持ち、落ち着いて活動に取り組めるようになりました。				
指導の形態	2 学期				
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に、「今年度の目標」に対する評価を目標の番号と対応させて記入する。 ・年度途中で完全に達成した目標があれば、目標番号と、達成したときの様子、評価した日付を記入する。 				
生活単元学習	・自分からトイレに入り、ズボンを下げて便座に座っていることも1、2度ありました。	・自分からトイレに入り、教師に向けて手をたたいて、尿意を催したという合図をすることができるようになりました。			
遊びの指導	・七夕飾り作りでは、ちぎった折り紙を牛乳パックに貼りました。教師の支援を受けながら、手元をよく見てちぎったり、貼ったりすることができました。とても集中して取り組むことができていました。後半は手順を理解して、一人で折り紙を貼ることができました。	・「作って食べよう」では、教師の説明をしっかりと聞き、名前を呼ばれるまで落ち着いて順番を待つことができました。バナナパフェを作ったときには、手元を良く見て活動し、カップにフレークを入れたり、クリームを絞ったりすることができました。	・目標として設定した項目は、1学期、2学期のいずれかで、必ず評価するように留意する。 (評価できないことのないように、目標として適さない場合は、目標の訂正をする)		
国語	・二種類の果物カードを使い、マッチングをしました。「ばなな」と「りんご」「りんご」の絵カードのマッチングすることができました。	・指導の形態ごとに到達度や習得の状況を記入する。 (進歩の状況・特徴等) ・文章の末尾は「～でした。/～ました。」で表記する。			
算数	・大型積み木や図形書を使って○△□の形の字を書きました。教師と一緒に○△□の形を指でなぞったり、教師が示した積み木と図形書の中から選ぶで渡したりすることができました。	・「・」の下は空欄(口スペース)を作り、文章の体裁を整える。			
体育	・「ボールで遊ぼう」では、手のひらサイズのボールをつかむことができました。口か	※基本的に、「個別の指導計画(目標/評価)」の作成の際は、 <u>昨年度の児童生徒の「個別の指導計画(目標/評価)」</u> を参考にして、作成に当たる。 ※小1・中1・高1の担任は、各学校からの「引き継ぎ資料」と、本校在学中の児童生徒の「あゆみ/歩」の内容を参考にしながら、「個別の指導計画」を作成する。			
音楽	・「南の島」のチャンバやボンゴをたたきました。リズム感が良く、曲に合わせて音を鳴らすことを楽しむことができました。	・「サーキット運動」では、後ろ向きで低い平均台を歩いたり、後ろ向きに進むことができました。			
自立活動	・トランポリンの上に正座して、教師に揺らしてもらった間、倒れないように身体を支えていることができました。また、膝立ちの姿勢でジャンプすることができるようになりました。	・2ピースの絵合わせパズルに取り組みました。完成型を見せると何をするのかが分かり、ピースを組み合わせることができました。できあがったパズルを何度も指さして絵が完成したことを喜び、教師の言葉掛けに応じて何度も取り組むことができました。			

・自立活動の評価の欄には、目標に対する評価を記入するが、「時間の指導」における評価は必須となる。また、自立活動の年間指導計画を参考にして、「学校生活全般における目標に対する評価」も記入することができる。(個別の指導計画に目標として設定されているものについては記述)